

# 1次関数



**1次関数**… $y$ が $x$ の関数で、 $y$ が $x$ の1次式で表される関数。

1次関数の式は、 $y=ax+b$  ( $a, b$ は定数)

$$y = -3x + 4, y = 2x \text{ など}$$

800mの道のりを、分速60mで $x$ 分進んだときの残りの道のりを $y$ mとする。

(残りの道のり) = (道のり全体) - (進んだ道のり)  
進んだ道のりは、(道のり) = (速さ) × (時間)なので、  
 $60 \times x = 60x$  (m)

つまり、残りの道のりは、

(残りの道のり) = (道のり全体) - (進んだ道のり)

$$y = 800 - 60x$$

$$y = 800 - 60x$$

$$y = -60x + 800$$

**確認**

**1** 次のうち、 $y$  が  $x$  の 1 次関数であるものをすべて選びなさい。

①  $y = -2x$

②  $y = \frac{2}{3}x - 1$

③  $y = \frac{4}{x}$

④  $y = x^2$

**2** 次の関係を、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。また、1 次関数であるものをすべて選びなさい。

(1) 1 辺が  $x$  cm の正方形のまわりの長さ  $y$  cm。

(2) 200 ページの本を、 $x$  ページ読んだときの残り  $y$  ページ。

(3) 400m の道のりを分速  $x$  m の速さで進んだときにかかる時間  $y$  分。

(4) 1 本 80 円のペン  $x$  本と 1 個 60 円の消しゴム 2 個買ったときの代金の合計  $y$  円。